北九州 EVENTワイドTOPICS

健康情報のウソ、ホント（下）

4月23日に福岡県水巻町の遠賀中間医師会館であった第140回患者塾。「健康情報のウソ、ホント」をテーマに、心臓病や乳がんの検査に関するさまざまな質問に専門医が答えた。

患者塾

医療の疑問にもやもやしく答える

急ぐ場合はカテーテルをCTでは分からない所も

心臓病の検査

△福岡県宗像市の60歳女性▽　胸が痛くなって大きな病院を紹介され、すぐに心臓のカテーテル検査をされました。心臓の血管が少し詰まっていて血管を広げる治療もしましたが、友人は「今はまずCT（コンピューター断層撮影）をするのが普通で、いきなりカテーテル検査をすることはない」と言うのですが本当ですか。

近藤さん　狭心症は心臓を栄養する血管が狭くなって血液の流れが悪くなる病気で、心筋梗塞は血管が閉塞して詰まってしまう病気です。狭心症は安静状態では症状が出ないことが多く、何らかの負荷が体にかかった時に胸が痛くなります。

症状がない時に心臓の病気かどうかを診断するのはとても難しく、血管内を診る方法の一つにカテーテル検査があります。CTでも体外から血管内を見る方法も出てきましたが、CTだけでは十分でない部分もたくさんあります。

どちらを選ぶか決める際に重要なのが問診や血液検査です。狭心症が強く疑われれば、できるだけ早く診断及び治療をする必要があるのでカテーテル検査をすることもあります。

太崎さん　血管に多少のつまりがあっても余裕がある場合にはCTを、あまり余裕のない場合はカテーテル検査になります。CTは診断だけですが、カテーテルはそのまま治療に移行できるので、急ぐ患者ほどカテーテル検査になります。

近藤孝一さん

乳がんの検査

△福岡市の56歳女性▽　キャンディーズのスーちゃんが乳がんで55歳で亡くなりました。「乳房をぐりぐり触っても分からない乳がんがあり、たちが悪い」とも聞いたのですが、本当ですか。

伊藤さん　乳がんの診断をする時には「乳房のしこりを触れて下さい」と言われてきましたが、最近は検査方法が進んで、しこりがないことではなく、取り除けば通常より経過はいいです。ただ、しこりがなく、皮膚表面に炎症を起こしているだけに見える乳がんがあり、がんが乳房全体に広がっていることもあるので注意が必要です。

しこりがなくても注意 エコーとマンモ交互に

平田さん　エコーとマンモグラフィーを毎年交互に受けていれば、いろいろなタイプの乳がんにも対応できてあれば同時にしてもいいと思います。張りのある乳房を持つ若い人はエコーの方が、年齢がいった女性はマンモグラフィーの方がいいと思います。

できる前の状態で見つかることがあります。早期に見つかるので、「たちが悪い」という圧巻は自分を診た医師に集まってもらっての合同カンファレンスだった。生への強い執着ゆえか。死を受け入れるためか。理解できないまま「そこまで求めるのか」という強い違和感を覚えた。と同時に、その壮絶な姿勢から、医療や医師に対する患者の思いの複雑さを考えさせられた。

患者にとって医療や医師は、信頼感と不信感が「ない交ぜ」になる存在だと思う。患者塾を担当し始めた時の私は「信頼しすぎないように」という感覚だったが、多くの医師に接し少し変わった。

多くの医師は「これは医者塾」という感想を語った。医師には症例検討会や勉強会もあるが、患者塾は全く異質だ。主宰の小野村健太郎さんが出席者をいじる、一見出たとこ勝負の進行だが「台本」は、その頭の中にある（と思う）。まさに他流試合での、半ば本音のやりとりに戸惑う医師の人間くさい姿に新鮮さを感じた。

記事は、語られた情報を伝えることはできても、ライブ感は伝えきれない。だから、ぜひ会場に足を運んでください。そこでゲスト出席者の姿だけでなく、レギュラーである伊藤重彦さんの明解な説明や津田文史朗さんの哀愁を帯びた釈明を楽しんでほしい。医療と医師への信頼感が増し、身近に感じるはずだ。知識・情報を得るだけではない患者塾の効用が、そこにある。

◆

次回から担当が変わります。2年間、お世話になりました。

【御手洗恭二】

患者塾の効用　医師が身近に感じられる

録画したまま、怖そうなので放置していた番組を最近ようやく見た。がんを再発した女性ノンフィクション作家が納得できる医療を追い求める姿をとらえた「百万回の永訣～柳原和子　がんを生き抜く～」。

次々と専門医を訪ねて「患者に希望を与える医療とは何か?」を問う迫力もすごいが、

出席された方々

前岡伸彦さん＝直方中央病院（福岡県直方市）▽槙原正人さん＝まきはら歯科医院（北九州市）▽近藤承一さん＝遠賀中間医師会おんが病院（福岡県遠賀町）▽辛島則子さん＝同▽伊藤重彦さん＝北九州市立八幡病院▽太崎博美さん＝同▽西野憙史さん＝西野病院（北九州市）▽平田敬治さん＝福岡山王病院（福岡市）▽津田文史朗さん＝つだ小児科アレルギー科医院（福岡県水巻町）

▼司会　小野村健太郎さん＝おのむら医院（福岡県芦屋町）

質問は事務局へ
〒807-0111
福岡県芦屋町
白浜町2の10
「おのむら医院」内
電話093・222・1234
FAX093・222・1235